

DOYOU

Kanagawa

'25.12 / '26.1 vol.469

同友かながわ 12/1月号

福祉創造株式会社 石河 幾久雄氏



合気道は経営に通ずる

リーダー見聞録

横浜で介護支援事業、訪問介護事業、クリーニング業、大和で就労継続支援B型事業所などを運営する福祉創造株式会社の石河 幾久雄氏。家業のクリーニングの手伝いから始まり、19歳で初めての会社設立、儲かりそうだから介護タクシー事業を始め半年で撤退など、経余曲折はあっても、少しずつ事業は大きくなっています。その秘訣を一言でいえば「信頼」。58歳で始めた合気道はまさかの「労使見解」がきっかけ。師範から受け身がうまいと評される石河氏の素顔を紐解きます。

—— まず、これまでの歩みと事業内容を教えてください。

高校卒業後、家業のクリーニング会社に入社しました。家が仕事場で三食付きなので給料は10万円。それでは足りないので、夜はアルバイトをしていました。ガソリンスタンドの深夜バイトやヤマト運輸の配送など、さまざまな現場を経験してきました。19歳の時に、お金がないけれどバイクと車に乗るために古物商の届出をして中古車を安く手に入れるために中古車販売会社を設立しました。そのことが今の仕事につながる第一歩ですね。

その後、知り合いから手伝ってくれないかと言われ、横須賀米軍基地で深夜の厨房清掃をしていました。これは結構な稼ぎになりました。ほかにも「管理会社だけでは手が回らない」と駐車場管理の仕事を頼まれ、気が付ければ人材手配や米軍基地への申請などの業務にも携わっていました。家業と掛け持ちしながらでしたが、私にとってはすべてが「仕事の幅を広げる現場経験」でした。

—— 福祉の仕事を始めたきっかけはなんだつたのでしょうか？

家業のクリーニングで病院出入りしていたのですが、ある時からタクシーではなく、普通の主婦のような女性が病院に車で送り迎えをしているのを見ることが多くなりました。調べると介護タクシーというものができたと聞き、報酬もあの頃は良かったんです。それですぐに資格を取り、介護タクシー事業を始めました。しかし、一人で営業・運行・調整まで行う難しさを痛感し、半年でこりやだめだと撤退しました。

でも、その介護タクシー事業が縁で福祉創造の前身である金沢ケア・サービスという会社を事業承継しないかと顧問税理士から打診があったんです。それなのに1年経っても一向に話が進展しない。たまに先方から呼び出

されるのですが、世間話をして帰るだけでも「もう承継する気はないんだろう」と思っていたら、ある日「あなたにお願いします」と。

就任2年後、社員が全員辞める寸前まで来ている訪問看護事業と介護タクシー会社にも「助けてほしい」と経営に携わることになりました。その直後によせばいいのにサービス付き高齢者向け住宅を開設したら運営がまったく回らない、知り合いに相談したところ、福祉事業者数社を見学させていただくことになりました。福祉事業の経験がなくても、経営はできることを教えていただいたその会社が神奈川県中小企業家同友会（以下、同友会）に所属していたことから同友会に入会しました。そこから経営指針作成部会を経て、B型事業所を立ち上げました。

—— お声かけいただいたことが事業発展の推進力になっていますよね。石河さんの人望がもとになっていると思いますが。

そんなことはありません（笑）。木が多い植木屋だけに気が多い、「儲かりそうなら何でもやってみたい」気持ちの方が強かったです。ですが社員は路頭に迷わせたくない思いはありました。

—— そこが石河さんの人望の核ですね。数年前から合気道を始めたということですが、これもどなたかからの紹介ですか？

合気道を始めた理由はとてもシンプルで、「運動不足を解消したかった」からです。でも、大きなきっかけは同友会の県南支部の「労使見解」例会に参加したことです。その時に「稽古の最初にお互いに礼をして、頭を下げるから始める」「日本の武道はまず受け身を習う」「負けても勝っても頭を下げて、挨拶で対等に向き合う」という話を聞いたんです。それで「強さより、心と姿勢を学ぶ」という世界に惹かれました。ちょうど、同じ県南支部のめいあい株式会社の柳瀬 和浩氏が



合気道の受け身。この形であれば上からの力押しにも負けない強さを持つ。経営も一緒だと石河氏。

ずっと前から合気道を習っていると聞き、見学させてもらいました。道場が家から近かったこともあり、すぐに入門しました。入門後3か月くらいは受け身を取るだけでも目が回っていました。

— 合気道の魅力はどこにありますか？

「力を抜くこと」の難しさと奥深さだと思います。相手に投げられまい、投げたいと力を入れるほど、かえって崩されてしまう。逆に力を抜き、呼吸と動きを合わせると、自然に体が流れるように動きます。

力を抜けど頭ではわかっていても、力を抜いたらやられそうだし、襲い掛かられたら動きたくなるので、力を抜くことはなかなかできません。それに稽古中は一切、他のことを考える余裕はなく、「どう受け身を取ろうか」と「力を抜くにはどうしたらよいか」しか考えられません。ミスをすれば怪我につながるので、集中するしかない。その「無心の時間」が私にとっては強いリフレッシュにもなっています。

そして、合気道は経営に通じていると思うんです。

— それはどんなところでしょう？

合気道は「上だから強い」「下だから

弱い」ではありません。どんなに上段者でも、まずは互いに礼をし、組み合います。上段者と組むのはとても楽しみなんです。高校生や大学生でもすごい人はすごい。わくわくします。この点は同友会も同じで、会社の規模や役職に関係なく、すごい経営者のところに行って学べる。似ているなと思っています。

それに合気道の技が決まらないときの感覚は、経営で壁にぶつかったときと似ています。力で押し通そうすると、かえって崩れてしまいますが、相手の状態を観察し、相手に合わせて相手の態勢を崩すことができる。合気道は武士が刀を抜かせまいとする居合道の動きもある武道なので、力づくでは切られてしまうけれど、こちらが力を抜くと相手が勝手に崩れていき道が開ける——これは社員や顧客、地域との関係づくりにもそのまま重なります。

また、自分が受け身を取れるようになったとき、「任せる怖さ」にも慣れるようになります。組織づくりで「任せる」という決断をしやすくなったのは、合気道のおかげです。投げられて転がりながら「これは体より心の訓練なんだ」と気づいたとき、合気道は単なる運動ではなく、人の生き方に関わるものだと感じました。

福祉創造株式会社
代表取締役 石河 幾久雄

〒236-0021
横浜市金沢区泥亀一丁目17番17号
みまつビル3階
TEL : 045-784-8861
FAX : 045-784-8845

障がい者向けサポート事業とシニア向けサポート事業、介護タクシー事業を行う。代表取締役の石河氏は若いころから不動産投資を行うなど、不動産管理に関する知識が豊富。その知識を生かし、セーフティネット居住支援も行っている。

<https://fukushi-souzou.com>



取材協力

合気道研究会インターナショナル (A.K.I.)
横須賀 沼田道場
師範 沼田 秀夫氏
横須賀市船越町5-14
TEL : 046-861-8105
<https://yokosukaaikido.com/ja/keikoguide/numatadojo>



— では最後に、福祉創造の将来像を教えてください。

今年の10月に居住サポート住宅という制度ができたのですが、これをもつときちんと広めていきたいと考えています。居住サポート住宅というのは、高齢者や母子、父子家庭、子育て世帯、障がい者、低額所得者など、住まいに困っている人の入居を拒まない賃貸住宅のことです。これは大家さん、行政、福祉事業者に橋渡しで入居者それぞれに見合ったサービスを行える。たとえば障がい者の子どもが入居したグループホームのそのすぐそばに高齢者用の住宅を用意して、親に入居してもらうこともできるようになる。そうすることで親は子どもから遠く離れず心配をせずに過ごすことができるし、子どもも自立しながら親と一定の距離を保つことができる。父子家庭、母子家庭にも何らかの不足している「何か」を補い合う仕組みが作れるのではないかと考えています。

でも、まずは人事評価制度の確立が先かな。

〈取材・文：(株)アールジャパン 荒岩 理津子〉

NEW FACE

プロバスケットボールクラブ 横浜エクセレンスの増田と申します。
昨シーズンB3からの昇格を果たし、
今シーズンはB2での戦いとなります。

株式会社横浜エクセレンス 法人営業部 部長 増田 駿亮

業種 プロバスケットボールクラブ運営
会社住所 〒231-0027
横浜市中区扇町3-8-4
電話番号 080-4796-8916
会社HP <https://yokohama-ex.jp/>
所属支部 横浜みなと支部
紹介者 税理士法人吉成会計事務所
吉成 博史氏
入会年月 2025年6月



菊屋浦上商事株式会社 代表取締役 浦上 裕生

業種 小売業（オフィス用品）
会社住所 〒252-0231
相模原市中央区相模原6-26-7
電話番号 042-754-9211
会社HP <http://www.kikuya-net.co.jp>
所属支部 相模原支部
紹介者 旭フォーカリフト（株）
横江 利夫氏
入会年月 2025年6月

文具を中心とするオフィス用品の商社でありながら、日本で唯一の「左利きグッズ専門店」として国内外から注目されています。約100種の左利き用品を取り揃え、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念をビジネスで実践。2月10日を「左利きグッズの日」に制定し、多様性時代の経営やアイデア創出について積極的に発信している、ユニークな事業を展開する会社となります。皆様、宜しくお願いします♪

FinBuddy（フィンバディ）は、経営者のよき相談相手として、財務・資金繰りから経営全般や生成AIの活用まで何でも幅広くサポートしています。

難しい話をわかりやすく、実践的に。経営者の皆さまと“ともに考え、ともに進む”パートナーとして、企業の成長と安定を支えます。

株式会社FinBuddy 代表取締役 丸山 晴弘

業種 経営・財務コンサル
会社住所 〒257-0031
秦野市曾屋3554-23
電話番号 0463-68-0131
所属支部 県央支部
紹介者 Web
入会年月 2025年10月





有限会社柳瀬工業所 取締役社長 野口 憲彦

業種 製造業 (精密板金・機械加工)
会社住所 〒221-0862 横浜市神奈川区三枚町379-1
電話番号 045-382-8359
会社HP <https://www.yanase-k.jp>
所属支部 横浜北支部
紹介者 (株)よらエデュケーション
荻野 桂氏
入会年月 2025年10月

横浜市神奈川区で精密板金及び機械加工の製造業をしております、有限会社柳瀬工業所の野口と申します。約2年前に事業承継し、私自身、経営者としてはまだ未熟である為、様々な業種の経営者の方にお会いし、色々と教えて戴きたいと考えています。

また、趣味 (バイク、釣り、フットサル、ゴルフ) を通じて、気の合う仲間作りが出来れば幸いでございます。

どうぞ宜しくお願ひ致します。

「お客様から自然と選ばれる。そんなデザインをビジネスの味方に。」というコンセプトで、WEBやチラシ、パンフレットなどのデザイン制作のお仕事をさせていただいております。

集客したいターゲットに合わせた商品やサービスの見せ方に変えるだけで、集客率や問い合わせ率を上げてきた実績も多数。

ホームページやチラシ、パンフレットなどのデザインツールは会社の資産です。結果の出るデザインをお求めの方はお声がけください。

すぐはらデザイン 代表 石原 直美

業種 グラフィックデザイン、WEBデザイン制作
会社住所 〒220-0004 横浜市西区北幸2-10-28 むつみビル3F
電話番号 080-2238-8803
会社HP <https://sukuhara-design.studio.site/>
所属支部 横浜中央支部
紹介者 Web
入会年月 2025年9月



飯塚塗研株式会社 代表取締役 飯塚 侑

業種 土木・建築塗装、防水、モルタル造形工事等
会社住所 〒252-0135 相模原市緑区大島11
電話番号 042-794-6731
会社HP <https://www.iizuka-token.com/>
所属支部 相模原支部
紹介者 (株)障碍社 安藤 信哉氏
入会年月 2025年9月

人が生きていく上で着るもの、食べるものの、住むところは必要不可欠です。弊社はお客様への「居」・「色」・「柔」の軸を持って企業理念にしております。居心地のよい住まいのお手伝いと、建物に色を加えて幸せにする色彩、そして、柔軟に対応をする思いやりの心を持ってすべてのお客様に心を届けられる会社を目指し取り組んでいます。

Welcome

第23回 障害者問題全国交流会 in 青森

参加レポート

(株) Mind One 菅間 大樹



共に生きるみらいへ

～青い森から手を携え、新しい世界へ踏みだそう～

2025年10月9日・10日の2日間、青森県にて「第23回 障害者問題全国交流会（以下、障全交）」が開催されました。

障全交は、中小企業家同友会全国協議会が主催し、障害のある人を含め、すべての人が働き、共に生きる社会をつくることを目指して、全国の仲間が集まる年に一度の全国大会です。

企業経営者、行政・教育関係者、福祉団体、そして障害当事者の方々が参加し、実践事例を学び合い交流を深める場として長く続いている。

1日目：分科会と懇親会

初日は5つの分科会に分かれて、それぞれのテーマに沿って学び合いが行われました。全国各地から参加者が集まり、現場での取組や課題、これからの方針について活発に意見交換が行われました。

その後、18時30分からは懇親会が行われ、地域色豊かな料理や地元の文化に触れながら、支部や地域を越えた交流が広がりました。初対面同士でもすぐに打ち解け、会場のあちこちで熱心な議論や笑顔が交わされている様子でした。

2日目：全体会・記念講演・津軽三味線演奏

2日目は朝から物産展が行われ、青森ならではの特産品を楽しみながら参加者同士のコミュニケーションが続きました。

全体会では、主催者挨拶や祝辞、各分科会の座長から分科会報告が行われ、学びの共有とともに大会全体としての方向性を確認する時間となりました。

続く記念講演では、初代・高橋竹山の生涯を通して、

逆境を乗り越えて生み出される創造の力や、人と人とのつながりの大切さについて語られました。

講演後には、実際に津軽三味線の生演奏も披露され、その力強さと繊細な響きに会場全体が聴き入り、大きな拍手が送られました。

閉会後は、希望者によるオプショナルツアーとして恐山方面への見学も実施されました。最後まで和やかな交流が続き、とても温かい雰囲気の中で大会は締めくくられました。

次回以降の開催について

2027年度には神奈川同友会が設営県としてこの障全交を担当することが決定しています。

大きな大会を神奈川で迎えるにあたり、今回の青森障全交で得られた学びと経験をいかし、実りある大会となるよう準備を進めていくことが求められます。

障全交は、障害者雇用の手法を学ぶ場にとどまらず、すべての人が尊重され、共に働き、生き合う社会を実現するための全国的な実践交流の場です。

次回以降多くの皆様の参加と協力が望まれます。



2027年度は神奈川で障全交が開催されます。たくさんのご参加をお待ちしております

分科会報告

第3分科会

神奈川

真の人間尊重経営の社会へ —多様な人材を生かす

テーマ 人間尊重の経営を根幹に据えて！～自主性を伸ばす仕組みづくり・組織づくり～

第3分科会では、神奈川同友会代表理事である株式会社エイチ・エス・エー田中勉氏より、仕組みづくりによる人間尊重経営の実践について報告いただきました。

参加者は約100名でした。

報告では、障害者雇用や障害者支援の具体的な取り組みには一切触れられず、代わりに「会社は社会の縮図であり、さまざまな人がいて当然」という考え方から、能力や属性に関係なく先着順採用を行っていることが紹介されました。

そこで生まれるトラブルこそが組織を改善する最大の機会であり、徹底した議論を積み重ねることで規程や仕組みを整えてきたと語りました。

最近では「エイチ・エス・エーに入ると人間力



報告者
(株)エイチ・エス・エー
代表取締役 田中 勉氏



座長
(株)ロジナス
代表取締役 山本 啓一氏

が磨かれる」と言われるようになったものの、その評価を得るまでには21年もの年月が必要であったと振り返りました。

最後に田中氏は「世界中で働いているすべての人に感謝します」と報告を締めくくりました。

（文：（株）ロジナス 山本 啓一）

会員 Information

住所変更

(株)ベルザ 代表取締役会長 福岡智子
旧：〒243-0417 海老名市本郷467-1
新：〒243-0434 海老名市上郷1-26-29

(株)クローバーホールディング 代表取締役 武藤広文
旧住所：〒150-0036 東京都渋谷南平台町16-25 養命酒ビル10F
新住所：〒150-0036 東京都渋谷南平台町16-28 Daiwa 渋谷スクエア 6F

社名変更

ファイナンシャルプラットフォーム(株) 代表取締役 高橋成壽
旧：寿FPコンサルティング(株)
新：ファイナンシャルプラットフォーム(株)

AIで時代も社会も変わっこいく!?

－ 仕事も企業も変革の時期が到来 －

2025年11月19日、神奈川県中小企業家同友会60周年記念全県例会「メタバース/AIを活用した社会課題解決！」がロイヤルホール横浜で開催され、株式会社Meta Heroes代表・松石和俊氏が登壇しました。松石氏は、同社のビジョン「Society5.0 × SDGs × HERO」を紹介し、日本の文化やものづくりをテクノロジーによって世界に発信し、若者が挑戦できる環境を整える取り組みについて語りました。また自身の地方出身の経験から、東京一極集中ではなく、地域からも才能ある“ヒーロー”を生み出す仕組みが必要だとし、地方創生への強い意欲を示しました。

■社会課題解決に向けた取り組み

Meta Heroesの主な事業は「AI教育」「防災」「地方創生」の3つです。若者が関心を寄せるゲームやeスポーツなどを入り口に、“好き”から学びへとつなげる教育設計を重視しています。

■防災×教育の融合モデル

神戸市の震災30年をテーマにした防災メタバースでは、実際の震災を題材としながらも過度に恐怖を与えない表現を用いることで、子どもたちが楽しみながら災害知識を身につけられる仕組みを構築しています。さらに地域の空きスペースを活用して、防災・DX・AI教育を常設で学べる拠点づくりも進めています。また、防災技術を体験できる「防災万博」も開催し、次世代の防災リーダー育成につなげています。

■AI人材育成と企業変革

企業向けAI研修にも力を入れてお

り、IT初心者のパート社員が研修後にAI事業部長へ抜擢されたケースも紹介されました。松石氏は「AI活用において重要なのはIQではなく、EQ（感情）やSQ（社会性）です」と述べ、中小企業こそ効率化や人材育成のためにAIを積極的に取り入れるべきだと強調しました。講演では「10年後には映画のような世界になるかもしれません」とユーモアを交えつつ、変革のスピードを意識する必要性を伝えました。

■次世代ヒーロー100人創出へ向け

大阪・難波パークスに設立した子ども向け教育施設「HERO EGG」では、AIや最新技術を無料で学べる環境を提供しています。中学生が動画生成をこなすレベルに成長するなど成果が出ており、引きこもりの子どもでも参加できるプログラムが高く評価されています。

当日はゲストとして、Meta Heroesの社員でもありアーティストである

の八崎吏紗氏、高校生で起業経験のあるエンジニア中山蒼氏、中学3年生のプロデューサー近藤にこる氏が登壇しました。近藤氏は「すべての子どもに挑戦する環境を届けたい」と語り、2030年リヤド万博に向け、神奈川からも新たなヒーローを生み出すために大人たちの協創を呼びかけました。

■未来を切り開く“大人の学び直し”

松石氏は「日本のホスピタリティや繊細なものづくりは、AI時代こそ価値を発揮します」と述べ、大人自身がリスクリングを行い、若者に機会を提供していく重要性を強調しました。そして「ヒーローをつくるヒーロー」として、世代を超えて共創していく未来像を提示し、講演を締めくくりました。

※Society5.0：狩猟社会（1.0）・農耕社会（2.0）・工業社会（3.0）・情報社会（4.0）に続く、日本が目指す未来社会。〈内閣府HPより〉



楽しそうに子どもたちの話をする松石氏



登壇した中学3年生の近藤にこる氏



熱弁する近藤にこる氏の話を聞く会場

（文：株ハマ企画 松村千代）

第3回 雇用創造フォーラム in 川崎

みかさん

みんな かつやくからふるかながわ

●日時 2月10日(火) 15:00-18:00
(受付 14:30~)

懇親会
18:40~

- 会場 川崎市産業振興会館 (川崎市幸区堀川町66-20)
- 参加費 無料 ※懇親会費は別途3,000円

パネルディスカッション

「多様な人材」の雇用を創造する

～「みんな かつやくからふるかながわ」を具体的に実践するには??～

ファシリテーター／ぜんち共済(株) 代表取締役 榎本重秋氏 (副代表理事／相模原支部)

- パネリスト
- 女性活躍／ストーリー(株) 代表取締役 松尾実里氏 (たま田園支部副支部長)
 - 障害者・短時間雇用／(株)スタックス 代表取締役会長 星野妃世子氏 (副代表理事／たま田園支部長)
 - 外国人労働／(株)赤原製作所 代表取締役 赤原宗一郎氏 (副代表理事／県央支部)
 - ヤングケアラー／(株)ENCHORD 代表取締役 高垣内文也氏 (横浜みなと支部)

主催／神奈川県中小企業家同友会 ダイバーシティ委員会 共催／川崎市 後援／神奈川県、神奈川労働局、教育委員会
協力／第3回川崎市障害者雇用促進ネットワーク会議 お問い合わせ：神奈川県中小企業家同友会

お申込
フォーム



DoYu Topics

令和7年度 障害者雇用エクセレントカンパニー賞(東京都知事賞)を ぜんち共済株式会社が受賞

会員企業である「ぜんち共済株式会社」(代表取締役 榎本重秋氏)が、令和7年度障害者雇用エクセレントカンパニー賞を受賞しました。同社は知的障害・発達障害・ダウン症・てんかんのある方のための総合保険を扱う企業です。

大企業が並ぶ中での受賞について、榎本氏は「やってやったぞ！」という気持ちは正直ありましたね。東京都が中小企業の取り組みをしっかり見てくれていたことが、同友会を認めてくれたようで本当に嬉しかったです」と笑顔で話してくださいました。

同社では、障害のある社員の方々を“職場の仲間”として自然に受け入れ、仕事だけでなく生活面の相談にも寄り添う風土が根づいています。社員の

方々が受賞に大きく沸き立つ様子はなかったそうですが、それは「日々の取り組みが当たり前になっているから」とのこと。むしろ、その自然体こそが評価につながったのだと感じさせられました。

今後の障害者雇用の広がりについて伺うと、「働くことは生活リズムを整え、心身の健康にもつながります。遠くの大企業だけでなく、暮らしたい地

域の中小企業で働く社会になってほしい」と、地域の企業への温かい期待を寄せてくださいました。

そして最後に、「働くことは生きること。そこを支えるのは我々中小企業家の役目です」と、穏やかながらも力強い一言をいただきました。今回の受賞は、その思いが日々の実践として根づいている証でもあり、同友会としても大変誇らしい出来事となりました。



〈取材・文：(株)アールジャパン 荒岩 理津子〉

弁護士の広告はどこまで許される？

LM総合法律事務所 網野 雅広

こんにちは。弁護士です。突然ですが、法律事務所の広告、目にしたことありますよね？ネット上でもたくさん広告が出るので、まったく見たことないよ、という人は少数派なのではないでしょうか。

この広告、実は割と最近まで規制されていて、平成12年になってようやく全面的に広告が解禁されたのですが、その広告内容に関しては実は結構厳しい規制があるということはほとんどの方がご存知ないでしょう。そこで、今回は「ちょっとためになる」ということで弁護士業界の広告規制についてお教えするので、広告に簡単に釣られない賢い消費者になってください。

1. 弁護士の広告規制

平成12年に弁護士の広告が解禁されたわけですが、なんでもありというわけではありません。それこそラッピングバスかなんかで「勝訴♪勝訴♪フーフーフーフーフ♪」みたいな広告嫌ですよね？私も嫌です。そのため、日弁連では「弁護士等の業務広告に関する規程」を定めています。代表的なところでは、

- 誤導又は誤認のおそれのある広告（例：弁護士一人なのに「24時間365日対応！」と書く）
- 誇大又は過度な期待を抱かせる広告（例：「国が認めた借金救済制度」のように、破産や民事再生以外に、特に有利な制度があるとの期待を抱かせるもの）
- 困惑させ、又は過度な不安をあおる広告（例：「今すぐ請求しないとあなたの過払金は失われます」と書く）
- 弁護士等の品位又は信用を損なうおそれのある広告（例：「法の抜け道、抜け穴教えます」のように脱法・違法行為を想起させるもの）

などがあります。見たことあるような気がしなくもないものもありますが、これ、私が独断で言っているのではなく、日弁連の「業務広告に関する指針」で明示されているのです。

実際、「今月1か月、過払い金着手金無料」というキャンペーンを延々と5年間更新し続けていた例では弁護士会から「品位を失う非行だ」ということで怒ら



品位を欠くであろう広告の例（生成AIです）

れました。

また、いわゆる「ロマンス詐欺」について「うちなら他の事務所と違って多く回収できます！」という広告を出していたところがありました。実際は回収なんて無理なのですが、期待させるような広告を使って大量に集客し、着手金をもらってあとは放置していたようで、こちらもやはり弁護士会からめちゃくちゃ怒られて業務停止になっていました。

2. セーフなんだけど…

ここまででは弁護士業界の広告規制と、明らかにアウトなものをご紹介してきましたが、より賢い消費者になつていただくために、「アウトじゃないなんだけどねえ」と弁護士的にはちょっと苦笑いしてしまうものをお紹介します。

(1) 専門弁護士？

弁護士業界では医師の専門医と違って専門性を認定する機関はありません。ですので、弁護士になり立ての若手弁護士が「●●専門弁護士」と自称しても基本的には問題ありません。ですので、その弁護士が本当に「●●専門」と言えるほどの経験や実績があるかどうかはよく見た方が賢い消費者になれると思います。

(2) 会長は偉い？

「平成●年 ●●弁護士会会長」とホームページに書かれていることがあります。なんか凄そうな感じがしますが、会長職は実際には持ち回りでやることが多いので、それほど意味はありません。ボランティア精神的な意味では偉いですが、別に凄いわけではない、ということは覚えておいてください。

(3) 雑誌で紹介されている？

たまに経済誌とかで「すごい弁護士100」みたいな特集がありますが、あれ、広告の場合も結構あります。私も記事風広告出しませんかというお誘いを受けたことがあります（断りました）。雑誌に載っているからと言って安易に信じないほうがよさそうですね。

3. 最後に

まだまだ面白い話はありますが、紙幅の都合もありますのでこのあたりにしておきます。もっと聞きたい方は広報委員会に参加していただければ、もっと面白い話をバンバンしてしまうかもしれませんよ（誇大広告）。

2025年
12月・1月の
かながわPOWER☆社長とラシチタイム♪ 出演者

毎週月・木曜日、FM カオン (84.2MHz) で放送中。リスラジでもお聞きいただけます！

● 2025年12月4日
(株)半ざむ

佐保田 篤氏

● 2025年12月11日
合同会社 SDGs 経営サポート
鈴木 崇史氏

● 2025年12月18日
アセットプロテクションネットワーク(株)
齊藤 健氏

● 2025年12月25日 特別番組 1時間

旭フォークリフト(株) 横江 利夫氏、
(株)rai-zou 石井 尚志氏、
相模カラーフォーム工業(株) 甲斐 大輔氏

● 2026年1月8日
bar Mamma mia!

鳴戸 千鶴氏

● 2026年1月15日
(有)千秋園

原 千秋氏

● 2026年1月22日
(株)タクマ精工

白石 幸司氏

● 2026年1月29日
ストーリー(株)

松尾 実里氏

※日程や出演者は変更になる場合があります。

NEW FACE 新会員紹介

会社名	社内役職	会員名	所属支部	入会日	事業概要	紹介者
合同会社イキピッタリ	代表	細田 裕樹	横浜みなと	9月5日	社外経営企画室、ビジネスモデル、マーケティング、営業支援、デザイン	阿部敦史
(株)Alps	代表取締役	魚崎 仁潔	横浜中央	9月22日	SNS採用支援、インスタグラム運用代行、ショート動画、SNSマーケティング等	事務局(HP)
Flowtas Bloom	代表	鈴木香百合	たま田園	9月30日	人財開発コンサルタント、企業研修、人材育成プログラム開発など人づくり支援全般	事務局(HP)
(株)FACT	常務取締役	上原 大介	横浜みなと	10月1日	制御盤の設計・製作・工事、環境分析受託	事務局(HP)
買取ふくろうびより	代表	山下 智弓	湘南	10月1日	古物商、生前遺品整理	染谷 恵
(株)アシスト	代表取締役	野田 誠	湘南	10月17日	リフォーム、新築、リノベーション、埋蔵文化財支援、不動産	麻生よう子
マインドコネクションズオフィス	代表	田中 啓祐	横浜北	10月21日	社会保険労務士業務、人事体制構築、管理職研修、評価制度構築等	大倉信浩
(株)vimvery	代表取締役	二木久美子	湘南	11月4日	バランスボールエクササイズ、産後ケア、健康経営アドバイス	永岡鉄平
湯川データ解析ラボ	代表	湯川 幸江	県央	11月6日	戦略コンサルタント、ライター	事務局(HP)
信長行政書士事務所	代表	小林 典広	横浜みなと	11月7日	行政書士、事業用弁護士費用保険代理店	事務局(HP)
(株)蓮長	代表取締役	白井 美穂	県南	11月13日	訪問看護事業	事務局(HP)
(株)Shiftwell	代表取締役	徳永 和香	川崎	11月28日	経営と現場のギャップを「見える化」しデータと本音で組織を変える「組織の健康診断サービス」	事務局(HP)

2025年11月30日現在会員数：989名 (全国会員数：47,801名)

編集後記 広報委員会より愛をこめて

今月号は「第23回障害者問題全国交流会 in 青森」と60周年をむかえる「全県例会」の様子が描かれています。地元の取り組みはもちろん、各県の同友会の活動が知れるのも、同友会ならではだと思いません。広報紙に出てくる写真や原稿は、広報委員会のメンバーが写真を撮ったり、インタビュー取材したものです。会場の雰囲気がよく分かって読み応えがあります。いつか行ってみたいと思っている会員の方は、ぜひ現地で体感してみましょう。

同友会の広報誌「同友かながわ-DOYU Kanagawa-」を制作・印刷している株式会社神奈川機関紙印刷所です。現在はこれだけネットが普及しているため、印刷物の出番が少ないかもしれません。効率化にとって印刷物は目の敵にされるのが最近の風潮かと思います。しかし、人と人との手渡し合ったり、資料として残したりする、そんなオフィシャルな信頼関係を作る部分では、まだまだ出番があります。良い文章を読みやすく、良い写真をキレイに…基本を忘れずに広報委員会の皆様とともに発行に努めて参ります。工場見学はいつでもお待ちしております！



色再現に好評があるフラッグ・マシン

株式会社神奈川機関紙印刷所 忍田優太

お子様・男性

ご参加
大歓迎!!

しなやかに・たくましく
経営力アップ!

女性部会
公式キャラクター

女性部会

女性部主催

ー 楽しく・美味しく・学び合うー

お泊まり相談会

2026年1月31日(土)～2月1日(日)

(第2回)

1 全体会



2 分科会



3 おしゃべり相談会



4



別途
要費用

特設サイト&
お申し込み



場所

まほろばマイinz三浦

神奈川県三浦市南下浦町上宮田323-1

有料駐車場あり・三浦海岸駅からシャトルバスあり

費用

おとな 24,000円 (大部屋) など

*①～③合計・宿泊費・会議室料・朝夕食費・相談会飲食費・入湯税含む
こどもは、3歳～小学生（中学生以上はおとな料金となります）*④おしゃ
べり相談会で購入した飲食物の残りの費用は、女性部の活動費とさせていた
だきます。*キャンセル料 1/30 PM以降は発生します（100%）

日帰りプラン
オンライン参加プラン
詳しくは特設サイトから

申込締切
2026年
1/15(木)

e-doyuからも
お申し込みいただけます



【広報委員】 [横浜中央支部] 中林正幸、網野雅広
[横浜みなと支部] 木村亮太
[川崎支部] 外木宏明
[県央支部] 天野哲也
[湘南支部] 鈴木 大、藤木尚
[県南支部] 荒岩理津子
[小田原支部] 小山暢宏
[たま田園支部] 佐藤慎治
松村千代、堤 由里恵、今井鉄平、長尾真裕美
木村亮太
外木宏明
天野哲也
鈴木 大、藤木尚
荒岩理津子
小山暢宏
佐藤慎治、佐々木良司、石川洋蔵

表紙/photo: 荒岩理津子((株)アールジャパン) / design: 佐藤慎治(有)デザインスペースマジック

神奈川県中小企業家同友会 2025年12月1日発行 編集責任者/松村千代 発行:神奈川県中小企業家同友会 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
同友かながわ第469号 神奈川中小企業センタービル3F TEL:045-222-3671 FAX:045-222-3672 制作・印刷/株神奈川機関紙印刷所